

2024年12月期 第3四半期
決算補足説明資料

株式会社ソリトンシステムズ
2024年11月14日

2024年12月期 第3四半期累計 実績

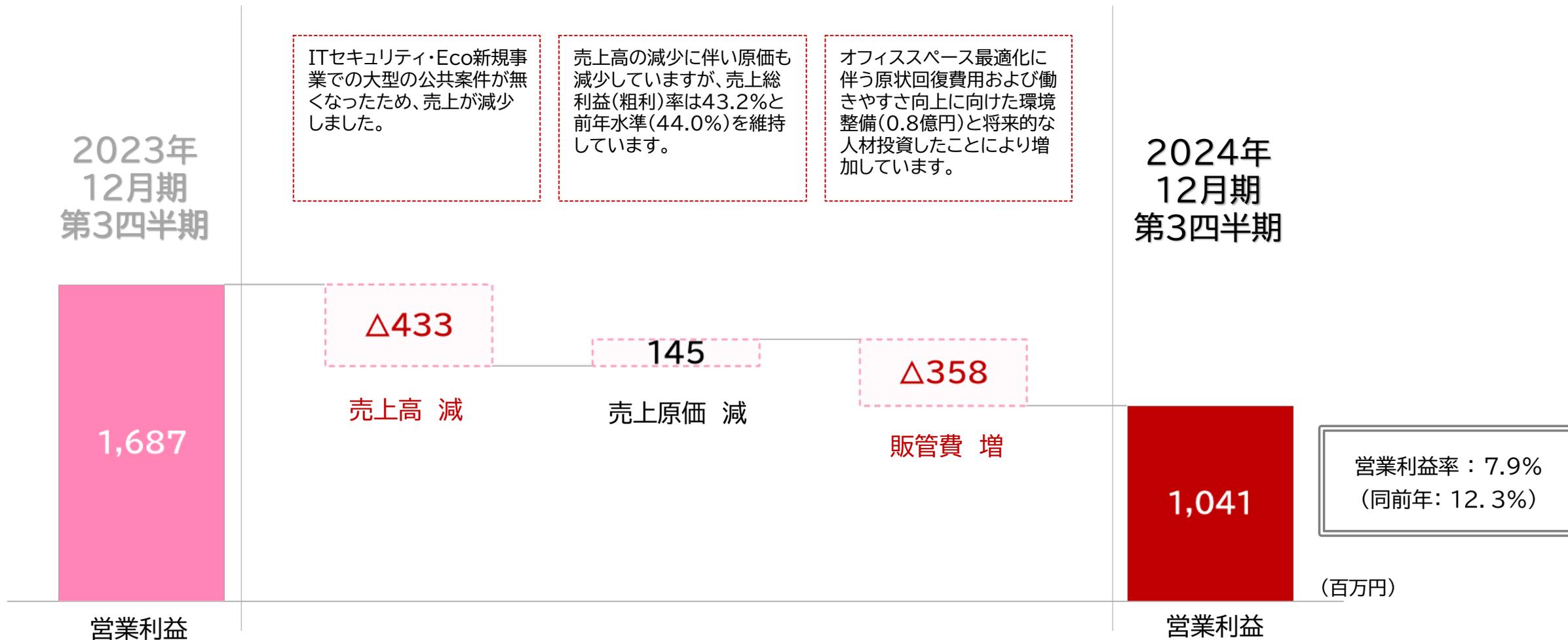
連結決算ハイライト（前年同期比・第3四半期）

- 当期は、ITセキュリティ事業とEco 新規事業開発で大型の公共案件が無くなったため、売上高は13,244百万円(前年同期比3.2%減)となりました。また、会社のオフィス環境の整備(投資額2.0億円、内販売管理費の増加0.8億円、固定資産の取得1.2億円)や将来的な人材への投資等により販売管理費が前年同期比8.3%増加し、営業利益は1,041百万円(前年同期比38.3%減)となりました。経常利益は円高による為替差益が12百万円(前年同期:169百万円)となり1,074百万円(前年同期比45.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は725百万円(前年同期比44.8%減)となりました。

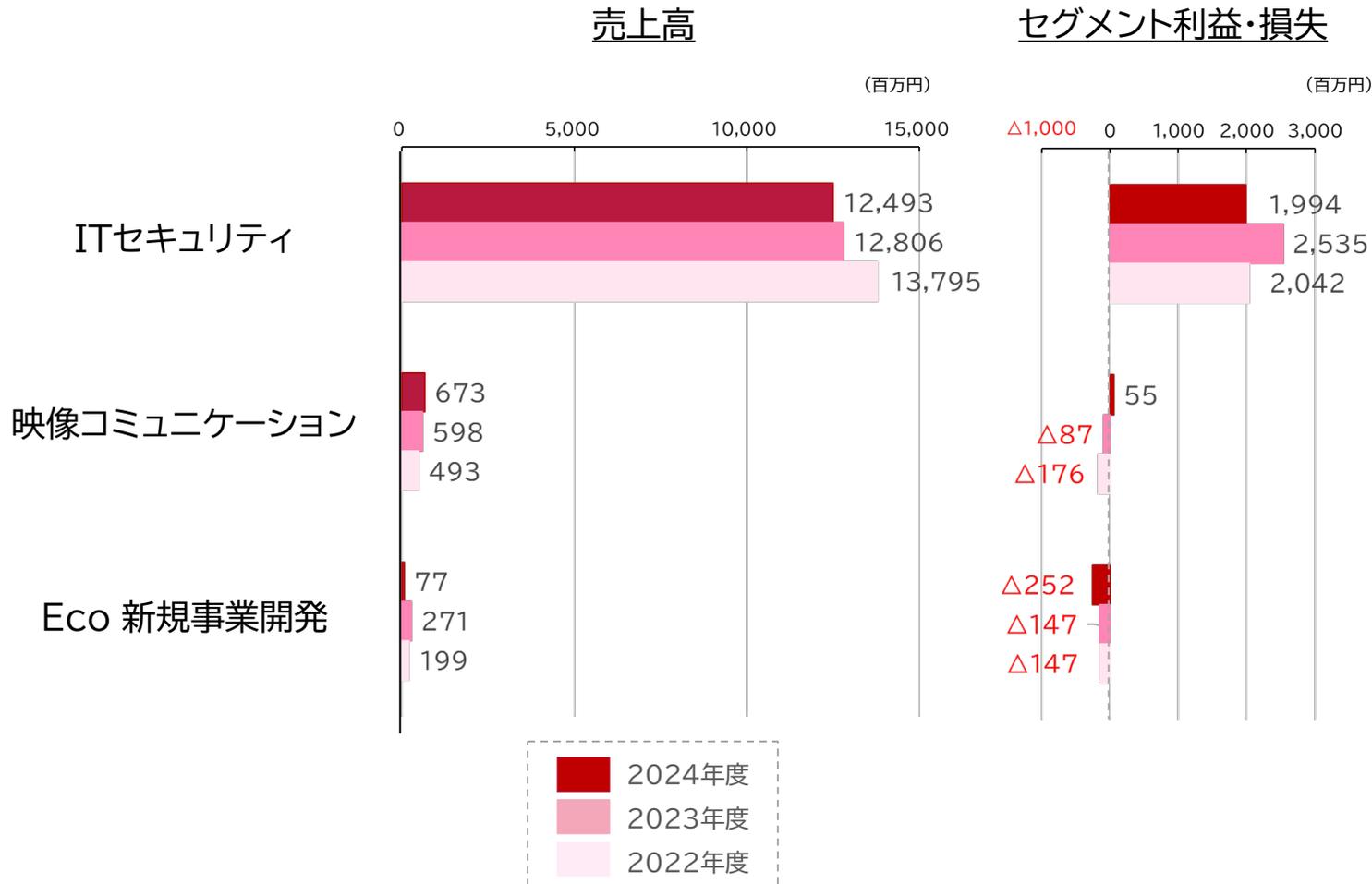
(百万円)

科目	23年12月期 第3四半期 実績	24年12月期 第3四半期 実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	13,677	13,244	△433	-3.2%
営業利益	1,687	1,041	△646	-38.3%
営業利益率%	12.3%	7.9%	-4.5p	-
経常利益	1,964	1,074	△890	-45.3%
経常利益率%	14.4%	8.1%	-6.3p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,315	725	△590	-44.8%

営業利益の増減要因（前年同期比・第3四半期）



セグメント別業績（第3四半期）



概況

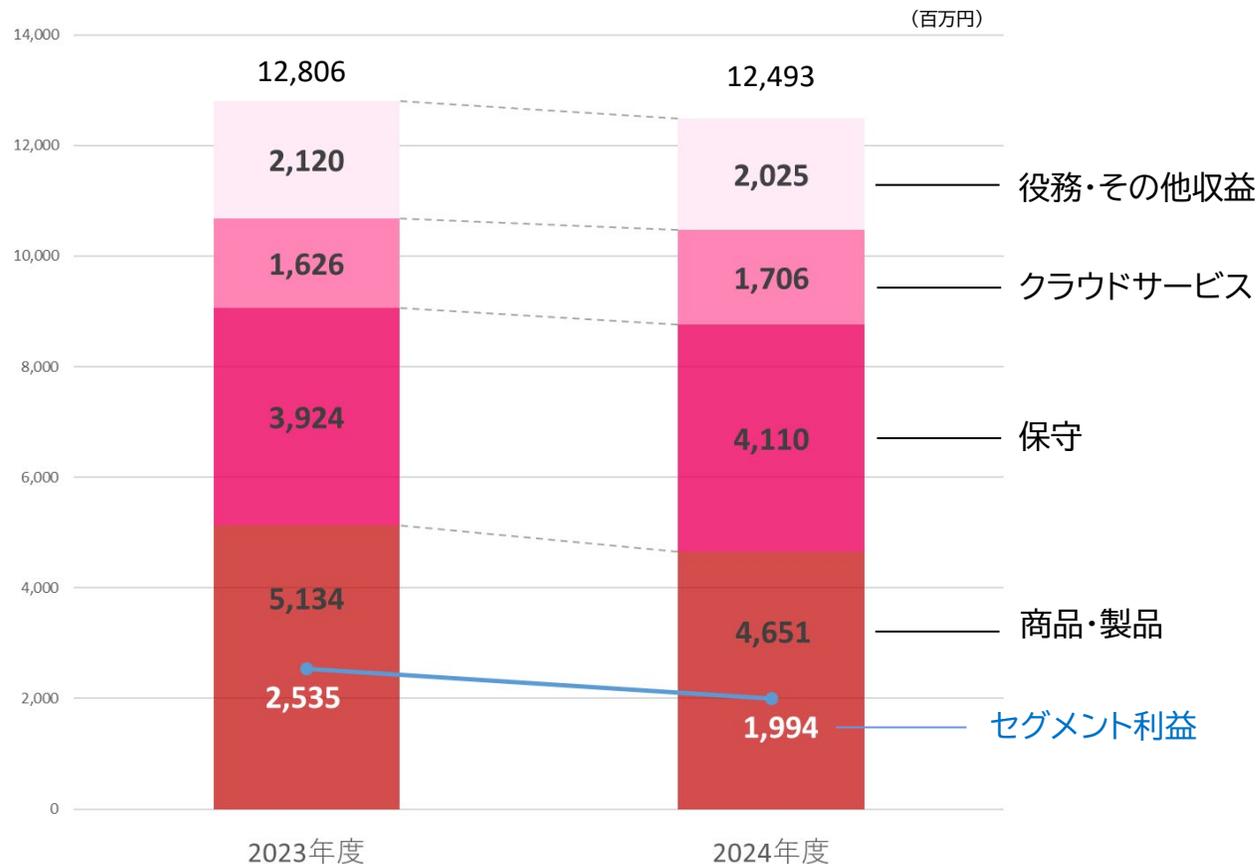
- 粗利率が高い自社製品による中央省庁向け大型案件が減少(前年同期当該大型案件の実績約4億円)し、減収減益となりました。

- 「Smart-telecasterシリーズ」の国内外のパブリックセーフティ分野(公的治安、災害対処)への販売を中心に、売上高は増収、セグメント利益を計上しました。

- 映像伝送装置の大型公共案件が無くなり、売上高は減収、先進プロジェクトであるアナログエッジAIは技術者を増員し鋭意開発を推進しており、結果、セグメント損失が拡大しました。

ITセキュリティ事業の収益の分解（第3四半期）

ITセキュリティ事業の売上高およびセグメント利益



- 「商品・製品」の売上は、粗利率が高い自社製品による中央省庁向け大型案件(約4億円)が減少したことにより、4,651百万円と前年同期比で9.4%減少しました。
- 一方で、主に当社が販売した商品・製品の「保守」に関わる売上は、4,110百万円と前年同期比で4.7%増加しております。
- また「クラウドサービス」の売上は、1,706百万円となり前年同期比で4.9%増加しております。
- その結果、「商品・製品」の売上の減少に加え販管費の増加により、セグメント利益は1,994百万円となり、前年同期比で21.3%減益となりました。

2024年12月期 通期見通し

通期見通し（業績修正）

- 当期は、ITセキュリティ事業とEco 新規事業開発で大型の公共案件が無く、売上高が期初予想を下回る見込みのため、2024年2月14日に公表した2024年12月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

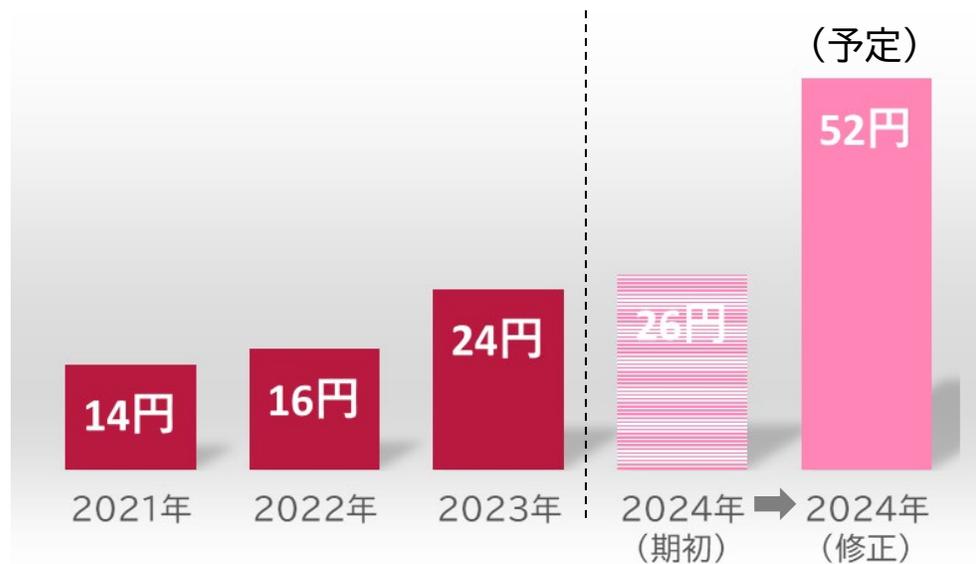
(百万円)

科目	23年12月期	24年12月期	対前年増減		前回公表値増減
	通期	通期	増減額	増減率	
売上高	19,058	18,400	△ 659	-3.5%	△1,600
営業利益	2,608	2,000	△ 608	-23.3%	△870
営業利益率%	13.7%	10.9%	-	-	-
経常利益	2,809	2,070	△ 739	-26.3%	△740
経常利益率%	14.7%	11.3%	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,936	1,430	△ 506	-26.2%	△510

配当方針および期末配当予想について

利益配分に関する基本方針及び期末配当予想について

【年間配当金の推移(通期)】



【利益配分に関する基本方針】

- 将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針とし、配当については、配当性向(連結)50.0%程度、もしくは株主資本配当率(連結)8.0%程度を目安とします。

【期末配当予想の据え置きについて】

- 当該配当方針より年間配当予想について、配当性向(連結)50.0%とすると38.58円/株、株主資本配当率(連結)8.0%とすると49.57円/株(*1)となりますが、現在の当社財務状況は健全であり、保守やクラウドサービス等のリカーリングビジネス(*2)が堅調に伸長しており、基礎収益力も年々強化されております。従いまして、期末配当金予想は39.00円/株、年間配当予想は52.00円/株(*3)とし2024年10月1日に公表した数値より変更いたしません。

(*1)2024年12月期第3四半期末の1株当たり株主資本(連結)より算出しています。

(*2)リカーリングビジネスとは、顧客に自社の製品やサービスを一度販売して終わりではなく、販売後も継続して取り引きし続けることで、長期間にわたり安定的に利益を獲得するビジネスモデルです。

(*3)年間配当予想52.00円/株の場合、株主資本配当率(連結)は8.4%になります。

(注)上記の予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

追加資料

ITセキュリティ事業のトピックス

「日本人のパスワードランキング2024最新版」公開

- 2024年1月から8月に発見された国内外276件の情報漏洩事件から、日本人が利用するパスワードを分析した結果をまとめた最新版「日本人のパスワードランキング2024」を公開しました。当社では、「オープンソースインテリジェンス」(OSINT)手法を使い、サイバー空間で発見したパスワード漏洩データを集約・分析し、「日本人が利用するパスワード」をランキング形式で取りまとめました。

〔2024年 最新ランキング〕

順位	日本人のパスワード	
	2024年	前回(2021)
1位	123456	123456
2位	password	password
3位	123123	000000
4位	qwerty	1qaz2wsx
5位	111111	12345678

・
・
・

ホワイトペーパーのダウンロードはこちらアドレスから行えます。
<https://www.soliton.co.jp/products/csa/pw2410.html>
 なお、この内容は日経MJをはじめ多数のメディアに掲載されました。

当社の主なサイバーセキュリティソリューション

Attack Surface
Management サービス

漏洩アカウント
調査レポート

脆弱性診断サービス

CSIRT構築
ベストプラクティス

標的型メール訓練サービス

...

【問い合わせ先】

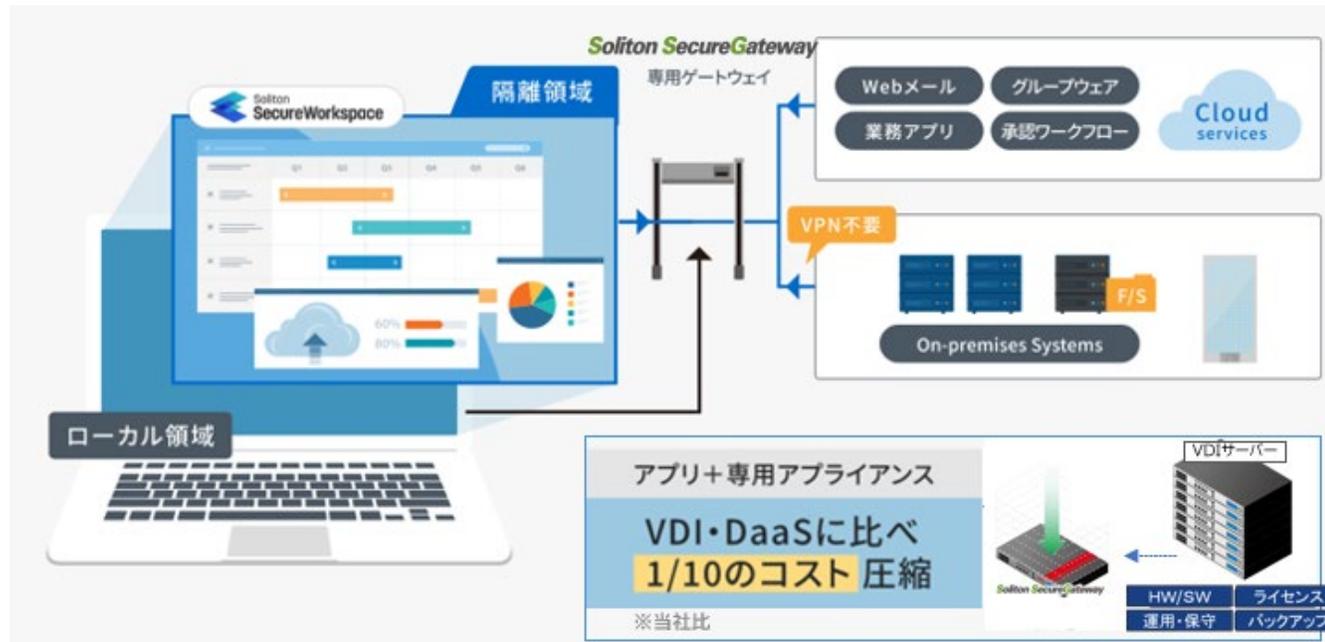
サイバーセキュリティ事業部

☎: 03-6369-8015

cyber-consulting@list.soliton.co.jp

【新製品】『Soliton SecureWorkspace』をリリース

- 業務端末のデータレス化を実現するソフトウェア製品「Soliton SecureWorkspace」をリリースしました。高額な導入・運用コストが課題であるVDIやSBCと比べ、コスト負担を大きく抑えつつ、クラウド活用やテレワーク、インターネット分離などに関わるデータ保護の課題を解決します。



【主な特長、提供機能】

1. いつもと変わらない操作性で、データを端末に残さない業務領域
2. 隔離された業務領域での快適なアプリケーション利用 (Officeのオフライン編集、Web会議など)
3. 専用ゲートウェイによる多要素認証および、社内・クラウドへのアクセス制御
4. ネットワークフォルダ上にあるデータのシームレスな閲覧/編集/保存/移動

『Soliton SecureWorkspace』について、詳しくは以下のページをご参照ください。
<https://www.soliton.co.jp/products/ssw/>

【当社製品の導入事例】 第一生命保険株式会社 様

第一生命保険株式会社 様

User Profile

一生涯のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社

所在地：東京都千代田区有楽町1-13-1

URL：https://www.dai-ichi-life.co.jp/

第一生命は、1902年の日本での創業以来、お客さま本位（お客さま第一）を経営の基本理念に据え、生命保険の提供を中心に地域社会への貢献に努めてきました。これからも、お客さまとお客さまの大切な人々の「一生涯のパートナー」として、グループ各社とともに、それぞれの地域で、人々の安心で豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献していきます。



インターネット接続用の仮想ブラウザをリプレイス
セキュリティ強化と共に、運用性と利便性の向上を実現

課題

導入効果

- | | |
|---|--|
| <p>1 仮想ブラウザ用のサーバー台数が増え、運用・保守に多大な工数とコストがかかっている</p> | <p>ブラウザアプリとアプライアンスというシンプルな構成に変更し、運用工数・コストを大幅に削減</p> |
| <p>2 インターネット閲覧のレスポンスが悪い、一定時間でセッションが切断されるなど、利便性に難がある</p> | <p>実績豊富なセキュアブラウザで、低いレスポンスやセッション切断などの課題を解消し生産性が向上</p> |
| <p>3 分離ネットワーク間のファイル移送時に面倒なステップが多く、ユーザーに負担を強いている</p> | <p>セキュアブラウザと連携する専用のファイル受け渡し装置で、手間なく安全なファイル移送が可能に</p> |

[導入された製品・サービス]

Soliton SecureBrowser

マルチOS対応セキュアブラウザによる
セキュアアクセスソリューション

FILEZEN

ネットワーク分離環境で「自分から自分」
へのファイル受け渡しをシンプルかつ
安全に行うアプライアンス

導入事例の詳細内容は、以下のページをご参照ください。

https://www.soliton.co.jp/case_study/dai-ichi-life.html

会社概要

社名	株式会社ソリトンシステムズ(Soliton Systems K.K.)
本社	東京都新宿区新宿 2-4-3
設立	1979年3月1日
役員	代表取締役社長 鎌田 理
資本金	13億2,650万円
業績	売上高:190億円(2023年12月期・連結)
従業員数	659人(2023年12月31日現在・連結)
拠点	本社 大阪営業所 札幌営業所 福岡営業所 名古屋営業所 東北営業所 開発分室(東京都) 長野開発分室 山形総合開発センター ロジスティックセンター
関係会社	索利通ネットワークシステム有限公司(中華人民共和国) Soliton Systems, Inc. Y Explorations, Inc. (米国) Soliton Systems Europe N.V. (オランダ) (株)Sound-FinTech その他1社
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 証券コード 3040

Soliton[®]

株式会社ソリトンシステムズ

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。